

海洋生物が日本の唄の歌詞に登場する曲の補遺

Supplement to "Marine organisms treated in the lyrics of Japanese songs"

久保田 信

様々な分類群に属する海洋生物が歌詞に登場する日本の歌の393曲をまとめ(久保田, 2003a)、その後イルカ・クジラ類が登用された5曲の追加があったが(久保田, 2003b)、今回、軟体動物と魚類をはじめ幾つかの分類群が登用された合計45曲の未報告の唄が見出されたので、それらをアイウエオ順に下記に挙げる。これらには、もともとは外国曲だが日本語訳詞つきの唄となっている少数の曲も含めている。

一方、1928年以降にレコードとして販売されてきた数々の唄(福田・加藤, 1994; 加藤, 2001)の中に、海洋生物が登場していると推察される曲が多数ある。しかし、それらの歌詞が入手できないままなので、今回は曲名に海洋生物が登用されている71曲を選び、別枠でアイウエオ順に列挙した。このような曲には珊瑚や真珠が登場させた曲が多い。また、これらの曲の中で、すでに報告した曲と同名異曲には歌手名とレコード会社および発行年を記して区別した。

(1) 歌詞に海洋生物が登用された追加曲

花の時 愛の時： 貝
愛は切なくて<A Lover Spurned>： セピア
逢えて……横浜： 真珠
明日へのターン： ドルフィン、さんご礁、魚
あなただけをー Summer Heartbreak： 貝殻
アンダー・ザ・シー： 海草、魚
いい日旅立ち・西へ： セピア
祝いしぐれ： タイ
海[五輪真弓]： サクラガイ
海から生まれた子供たち： 貝殻
エトランゼ： セピア
おいでサマーホリデイ： サンゴ礁

おいらの船は300とん： マグロ
大阪湾： サワラ、タイ
オジー自慢のオリオンビール： 魚
男の船唄： スケソウ
男の港： 銀鱗→魚
替え唄メドレー： コンブ、フグ、アンモナイト、エビ、サケ
替え唄メドレー3(完結篇)： カツオ
かに道楽： カニ
季節はずれの海： 貝殻
北のともしび： イサナ
キリン： サンマ
くじら： クジラ
熊野灘： クジラ
恋のジャックナイフ： 真珠
刺身と山葵： トロ(=マグロ)
さすらい鷗： 藻
しあわせになろうよ： 魚
すごい男の唄： サメ
すみれの花： 貝がら
旅まくら： イカ
Deep： サクラガイ、熱帯魚
なみだ船： ニシン
日本全国酒飲み音頭： ケガニ
能登はいらんかいね： タラ、イサザ
ふるさとのなしをしよう： カツオ
湾岸(ベイサイド)ホテル： 真珠
北海めおと節： コンブ、オキアジ
もらい泣き： ヤコウチュウ
ヤギさんのヒゲ： クジラ
ヤンザラエ： 魚、イカ(スルメ)
夜霧のハウスマヌカン： サケ
love across the ocean： 真珠
ワンダー・ブギ： クジラ

(2) レコードの曲名に海洋生物が登用された唄
哀愁のまぐろ船
青い珊瑚礁：(歌) 真木弥生, コロンビアレ
コード, 1958
いかとり船
魚河岸の石松
美しの珊瑚島
海ほうずきの思い出
えび打ち唄
沖は鰹だ
男稼業の蟹工船
男くじら
乙女心の真珠
親子鯨
泳げ! カマボコ
貝殻乙女
貝がら小径
貝がらの唄
かいがらルンバ
かき打ち娘
牡蠣の殻
鰹うり
蟹工船
悲しい貝がら
かにさんちよきちよき
銀座の大きくじら
鯨取り
鯨捕りの唄
鯨ぶし
黒い貝殻
恋の珊瑚礁
恋の夜光虫
桜貝
さくら貝のブルース
雑魚節
珊瑚礁の彼方
珊瑚の恋唄
珊瑚の島唄
珊瑚の島へ船は行く
真珠貝

真珠貝の歌
真珠採り
真珠とりの唄
真珠とりのタンゴ
真珠のイヤリング
真珠の首飾り
真珠の初恋
真珠夫人の歌
真珠むすめ
真珠湾の華
真珠湾節
鯛網大漁ぶし
鯛つり唄<大分民謡>
たこ踊り
蛸おどり
蛸つき
チュウチュウタコかい
渚の桜貝
泪の真珠乙女
海苔の唄
パラオの真珠採り
春は真珠から
人妻真珠
ふぐ踊り
鰻網
ペンギン踊り
ペンギン行進曲
ペンギンさん
ペンギン鳥の夢
三つの真珠
娘貝殻節
やどかりの唄
若い真珠
若い真珠採り
わすれ貝
忘れ貝

引用文献

加藤正義(編). 2001: 昭和流行歌総覧(戦後編). 第1版, 柘植書房新社, 東京.

久保田 信. 2003a: 海洋生物が歌詞に登用された日本の唄. くろしお, (22), 13-23.

———. 2003b: 日本の唄の歌詞に登用されたクジラ目の曲とその心. 勇魚, (39), 57-61.

福田俊二・加藤正義. 1994: 昭和流行歌総覧(戦

前・戦中編). 第1版, 柘植書房新社, 東京.

京都大学瀬戸臨海実験所

(〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海)